



2023年6月23日

各位

会社名 富士興産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 保谷 尚登
 (コード番号 5009 東証スタンダード)
 問合せ先 総務・ESG推進部長 荒川 真二
 (TEL 03-6859-2050)

サステナビリティ基本方針の策定及び重要課題（マテリアリティ）の特定に関するお知らせ

当社グループは、「サステナビリティ基本方針」を策定するとともに、サステナビリティの観点から優先して取り組むべき「重要課題（以下、「マテリアリティ」という。）」を特定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針

富士興産グループは、「地域のくらしと社会基盤を支えるエネルギーやサービスをお客様に安定的に提供する」という、私たちのミッションに基づく事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに企業価値の持続的な向上を目指します。

2. マテリアリティの特定

当社グループは、サステナビリティ委員会においてTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の枠組みに従い、対象となる事業の規模を表す「影響度」とリスク・機会となりうる気候関連の事象の「発生度」から、当社グループの各事業におけるリスク・機会の重要度を評価し、当社グループのサステナビリティに係るマテリアリティを特定するとともに、当該マテリアリティに対する戦略の概要を次のとおり策定いたしました。

分類	マテリアリティ	戦略の概要
E (環境)	①環境への貢献	環境負荷低減に資する製品・サービスの提供
		サーキュラーエコノミーを担うリサイクル事業等の推進
		シェアリングエコノミーに貢献するレンタル事業等の推進
S (社会)	②良質な製品 ・サービスの提供	社会の要請に対応した製品・サービスのラインナップの拡充
		サプライチェーンの維持強化
	③人材育成 ・社内環境整備	社員のエンゲージメントの向上
		人材の多様性の推進
		将来を担う人材の育成促進
	④地域社会への貢献	地域に根ざした事業展開の推進
製品・サービスの供給体制の強化		
災害発生時の供給体制・サービス体制の維持と強化		
G (ガバナンス)	⑤コーポレート ・ガバナンスの強化	経営の透明性を高めるコーポレート・ガバナンス体制の構築
		コンプライアンスの徹底
		非財務情報を含む情報開示の充実

3. サステナビリティ推進体制

当社グループは、委員長を代表取締役社長とし、各グループ会社の代表取締役社長、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）及び当社の各部長を委員とするサステナビリティ委員会において、当社グループのサステナビリティに関する基本方針の策定、マテリアリティの特定、マテリアリティに基づく目標設定及び進捗管理を行います。

また、本委員会の審議内容は、当社グループ各社の取締役会に報告することとしております。

以上